

令和6年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	神崎市立仁比山小学校 児童数 211 人	担当者名	篠崎 涼子・菱岡 智美
住所	郵便番号 842-0107 佐賀県神崎市神崎町鶴 1634 番地	電話番号	0952-52-2504

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱いについては、佐賀県個人情報保護方針 (<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00319144/index.html>) に定めています。

I.取組前の宣言内容

宣言	目標	ぽっかぽか図書館 「本は友だち いつでもみんなのそばにあるよ」
	取組期間	令和6年 4月8日 ~ 令和6年 11月30日

※令和6年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和6年11月30日までの取組みとする。

II.取組後の評価

評価	取組人数	211 人	実施日数	237 日	読書冊数	39313 冊	連携した団体数	1 団体
	取組内容（概要）	<ol style="list-style-type: none"> 1 本は身近にある環境づくりを行う 2 お気に入りの一冊を見つける取り組みをする 3 授業での調べ学習などで使える本の充実を図る 4 様々なイベントを通しての図書館の楽しみ方 						
	工夫したこと	<p>1 本は身近にある環境づくりを行う</p> <p>本校図書館は、図書館担当教員、司書補、図書委員 10 名で運営を行っている。貸し出し目標冊数は、児童 1 人あたり 1～3 年生は 150 冊。4～6 年生は 130 冊としている。そのうち学年に応じての「おすすめの本」を選定しており、読破数をそれぞれの学年で決め、目標達成できるような声かけをしている。(1・2 年は 50 冊、3・4 年は 40 冊、5・6 年は 30 冊)</p> <p>新学期始まってすぐに「図書館オリエンテーション」を行い、早い段階から貸出をすることによっていつでも本が身近にあるようにした。</p> <p>(1) 読書の記録の表紙には貸し出し用バーコードを貼り付けて、借りる時に一緒に出すようにしている。(学年ごとに色分けをしている。)</p> <p>(2) 読書の記録の中、はおすすめの本一覧表と読書目標数(10 冊単位)が張り付けられている。スタンプラリー形式。</p> <p>(3) 本をすぐに見つけることができるよう分類毎にし、そのほかにもコーナー別に本を置いている。(おすすめの本・平和人権の本・教科書にのっている本・こわい本・読書感想文課題図書・ひみつシリーズなど)</p> <p>(4) 各教室の個人の机の横に図書バッグを掲げ、ちょっとした隙間時間にも読書ができるようにしている。本を借りに行くときも大変スムーズである。</p> <p>2 お気に入りの一冊を見つける取り組みをする。</p> <p>一冊のお気に入りを見つけることがスムーズに出来ない児童もいるため司書補が寄り添ってアドバイスをしている。</p> <p>(1) 定期的に図書委員と、”季節のおすすめ本“や”委員さんが選ぶおすすめの本“または時事に合わせて選んだ本などのコーナーの入れ替えをし、本の紹介をしている</p> <p>(2) 新刊が入荷した時には優先的に借りることができるチケットなどがある。その他にもチケットを発行しているので、用途に合わせながら気に入った本を選んでいる。</p>						

	<p>(3) 図書館だよりで新刊や季節にあった本の紹介も行い、児童が「読んでみたい」と意欲がわくようにしている。</p> <p>3 授業での調べ学習などで使える本の充実を図る。 一年生からタブレットの活用をしており、調べ学習での本の利用は以前に比べると少なくなってきたが、「本を使って調べる」ということで、「考える力」「感じる力」「表す力」を育てるためにも授業での利用を推奨した。</p> <p>(1) 授業で使う本の購入を心がける。 (2) 日本十進分類法に合わせた本の配置をしているので自分の調べたいものを表で探すように声をかけた。</p> <p>4 様々なイベントを通しての図書館の楽しみ方 イベントを通して、本を読むだけではなく楽しい時間を過ごしたり、「図書館の正しい利用の仕方」を学んだり、「図書館」への親しみを持ってもらうことを考えた。</p> <p>(1) 4月の児童集会では、図書委員が選んだおすすめの本の紹介を行った。また、図書館での過ごし方や先生方の好きな本あて、日本十進分類などを〇×クイズ形式で出し、「図書館に親しんでもらうため」のイベントをした。 (2) 6月と10月の2回図書館祭りをを行い、様々なイベントを開催した。 名称は、図書館だよりにあわせて「ぼっかぼか図書館まつり」とし、児童への定着が見られる。また、図書館まつりの期間に合わせて6月には「ファミリー読書」（子供の選ぶ本を家族と一緒に読む）、10月には「読書がんばり週間」（家庭で何冊読んだか、題名と冊数を記入）を設定し、家庭での読書を奨励した。 (3) イベントの内容は基本的に図書委員が考え、司書補はサポートに徹した。6月に行った内容で、良かったものは残したり、変更したりと高学年のアイデアが光っていた。低学年は図書委員のサポートが嬉しいようで、「自分も図書委員になる」とあこがれを持つ児童も多い。</p>
<p>取り組んだ感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が毎日図書館に足を運び、楽しみながら読書をしている姿が多く見られ、取り組んでよかったと思った。本が好きな児童が多く、学校生活と図書が密接しているといっても過言ではない。 ・「ファミリー読書」を行った際には、保護者の方から「久しぶりに一緒に読んで楽しかった」等のコメントをもらい、読書が家庭に広がっていく喜びを感じた。そのほかにも「児童からこれを読みたいと言われた。」など書いてあり、読書のイメージアップにつながったと思う。 ・神崎市では、他校の図書館司書補で本のことに関する相談や、図書館運営に関しての共有ができています。自校だけでなく神崎市全体で連携を図りながら「読書」という良い習慣を継続できるよう、努力していきたい。
<p>これまでの取組や今後の取組予定 (令和6年(2024年)12月～令和7年(2025年)3月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の児童は、毎日朝読書を行っている。しかし、担任に促されないと読書を始められない児童もおおり、貸出時の声掛けや読書意欲がわくような本の選定をこれからも続けていきたいと思う。 ・毎年、図書委員が取り組んでいる「図書館新聞」作成を3学期に行う。内容は児童の話し合いで決まった「分類毎で人気の本」や「図書館での約束はなに」「貸出が多かったクラス」等を予定している。 ・年度末に向けて、借りた本の冊数に応じた賞状の準備をし、目標達成をすることの喜びを味わってもらうことと、進級しても継続できる環境を作っておきたい。

ぽっかぽか図書館まつりの様子

☆内容は、キャラクターシルエットクイズ、本の分類でビンゴ、本の仲間外れゲーム、しおりまたはぬり絵コンテスト、時期に合わせた工作などでした。



ハロウィンモンスターづくり。どんな怖い顔になったかな～
図書委員さんが低学年に教えてくれる姿が微笑ましかったです。



シルエットクイズは毎回人気の企画です。「あてて、あてて！」とみんな必死で手をあげています。ただ、いざあてられるとちょっぴり照れ臭そうです。



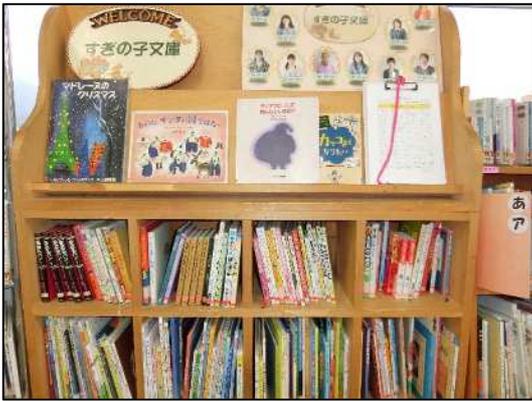
初めて行った「本の分類でビンゴゲーム」そろった数だけくじ引きができるので、低学年も一生懸命探していました。元に戻すところまでが、きちんとできていました。





ビンゴチェックをしてくれたのは、頼もしい
図書委員のみなさんでした。分類がしかり
と分かるようになったのも子供たちの成長
だと思います。

すぎの子文庫コーナー



「すぎの子文庫」は神埼町の方が建てられた私設図書館です。
本校にはこの図書館から紹介された本を常設展示し、いつでも児童に貸出
できるようにしています。「文庫」を図書館の中に置くことで管理もでき、
人気の本を共有したり、購入の参考にしたり、と読み語り団体との連携を
図っています。本は季節ごとに入れ替えをされています。

児童が借りたい時には、準備されている紙に名前と借りた日、返した日
を記入すれば、いつでも貸出ができるようにしていただいています。

(貸出時間：20分休みと昼休み時間)

バーコードではなく、目印となるシールが貼ってあり、低学年の児童も図書館の
本との区別ができています。丁寧に扱うこともできています。

年度初めにはオリエンテーションをおこなっていただきます。

また、毎週月曜日の朝の時間は各学級の教室で絵本の読み語りをされます。この
時に読まれた本は次の日に借りに来る児童が多いです。

他にも、毎年7月には1年生向けに「入学おめでとう」、3月には6年生向け「卒
業おめでとう」のお話会を行っていただきます。みんな興味しんしんに聞いていま
す。



年度初めのすぎの子文庫さんの自己紹介の様子です。
オリエンテーションでは、大型絵本や手作りのペープサートなど色々な出し物があり毎年楽しみにしています。子供たちは一瞬で本の世界に入っていきます。

- ☆ 一定の貸し出し冊数に達した時やおすすめの本読破の時は、「予約券」や「3冊貸し出し券」等をプレゼントし、児童が達成感を持てるようにしました。
- ☆ 年度末には、年間貸し出し目標数とおすすめの本の学年冊数クリアをしたら「仁比山小読書マイスター」の賞状がもらえます。
- ☆ 図書館だよりは、本のぬくもりを感じてもらえるよう、「仁比山小ぽっかぽか図書館だより」とし、図書委員が考えたキャラクターも登場させています。



毎年恒例の図書館新聞！

みんなが笑顔の図書館づくり



本校の図書館は校舎の北側に位置しているのですが、冬こそは寒い環境ではあるが、神埼市内の学校の中では唯一1～3年生の教室の向かい側にあるため、児童が大変利用しやすくなっています。
また、市内の小学校の中では一番の広さであるため、児童がゆっくりと過ごせて、クラスが重なって入ってきても、あまり混雑がありません。

これからも、「本が身近にある」環境というものは、児童の成長へとつながっていくことを願いながら、図書館づくりをしていきたいと思っています。